

光とならん

舞鶴支援学校通信
令和7年度第12号
発行
令和8年3月11日
TEL 0773-78-3133



<http://www.kyoto-be.ne.jp/maizuru-s/cms/>

「卒業を迎えられた皆さんへ」

ようやく私の天敵である厳しい寒さが去ったかと思えば、今度はもう一つの強敵、花粉の気配に目や鼻がムズムズする季節となりました。春の訪れを手放して喜べない自分に苦笑いしつつも、校庭の桜のつぼみが色彩を取り戻していく様子には、やはり心が弾みます。本日、卒業の日を迎えられた皆さんに、心からお祝いを申し上げます。

さて、今年の卒業式が行われる「3月11日」は、私たちにとって忘れられない大切な日です。震災から歳月が流れ、改めて感じるのは「人とのつながり」の尊さです。困難な時こそ手を取り合う絆。それこそが、未来を切り拓く本当の力になることを、私たちは忘れてはなりません。

本校の学校教育目標である「よく学び、より鍛え、よりよく挑む 児童生徒の育成」の言葉通り、皆さんはこの一年、素晴らしい姿を見せてくれました。小学部の皆さんは、市町の小学校との交流を通し「よく学び」、一緒に学び合う仲間ができました。地域で声を掛け合ったり、暑中見舞いが届いたりする関係は、何よりの宝物です。中学部の皆さんは、自分らしさにこだわり、得意を伸ばしました。自ら目標を掲げ「より鍛え」る日々を通して、周囲と支え合う大切さを見付け始めました。そして高等部の皆さんは、地域での販売会や実習で見せた「よりよく挑む」強さと、誰かと共に歩む実践的な力を身に付けました。それぞれのステージで一生懸命に咲かせた花は、どれも唯一無二の「光」を放っています。

正直に申し上げれば、私は大変涙もろく、この時期は情にこらえきれず、つい目頭が熱くなってしまいます。学校で皆さんが「校長先生、こんにちは！」と元気に声を届けてくれる。それが当たり前前の光景であったけれど、その温かな挨拶に、私は毎日どれほど救われ、元気をもらってきたことでしょう。本当に、ありがとうございました。

本校のたよりの題名「光とならん」にあるように、ここで培った絆を、次は皆さんが自らを輝かせ、進むべき道を照らす「光」にする番です。皆さんの未来が、春の陽だまりのように温かいものであることを願い、精一杯のエールを贈り、お祝いの言葉といたします。

“卒業おめでとう。そして、明日もよりよく挑め！”

校長 南田 高典

小学部「6年生を送る会」

2月19日(木)に「6年生を送る会」を実施しました。会場には、6年生が図画工作で制作した作品が並び、壁面には在校生が心を込めて作成した大きな花束の飾りが会場を華やかに彩りました。

本番では、5年生の実行委員が司会や挨拶、プログラムめぐりなどを務めました。6年生は、「思い出のアルバム」のスライドショーを通して小学部での歩みを振り返るとともに、漫才・太鼓・計算・縄跳び・組体操など、これまでの学習の成果を発表しました。どの発表も6年生の決意が感じられる素晴らしいもので、堂々と発表する姿が見られました。



中学部「卒業生を送る会」

2月26日(木)、卒業生を送る会を行いました。この日まで、1・2年生と3年生に分かれて準備を進めてきました。3年生は、決意発表の内容を考え、繰り返し練習を行ってきました。1・2年生は、3年生への感謝の気持ちを込めて、プレゼント作りや飾り付けなどをしました。

本番では、中学部での思い出や頑張ったこと、お世話になった人への感謝の言葉、進学に向けての決意を堂々と発表することができました。最後に全員で、「♪カントリーロード」を歌と手話で発表しました。歌詞の意味を考えながら手話で表現する中で、いろいろな思いが込み上げ、感動的な発表となりました。



高等部「卒業生を送る会」

3月4日(水)、卒業生を送る会を行いました。3年生は卒業後の決意を発表し、これまでの思い出を振り返るムービーを視聴することで、高校生活の締めくくりとして卒業への意識をさらに高める時間となりました。また、在校生は先輩たちの真剣な姿や言葉に耳を傾け、自分自身の1年後、2年後の姿を思い描きながら、卒業へのイメージを深めていました。会の終わりには、音楽部による「♪歩いて帰ろう」の合奏が行われ、温かい拍手と笑顔に包まれた和やかな雰囲気の中で、16名の卒業を祝う場となりました。



3月行事予定



17日(火)	個別懇談	短縮校時
18日(水)	個別懇談	短縮校時
19日(木)	修了式	短縮校時

4月当初の行事予定

8日(水)	始業式・短縮校時
9日(木)	入学式・短縮校時
10日(金)	短縮校時
13日(月)	給食開始

